

第4学年 国語科学習指導案

平成28年11月29日（火）第4校時

- 1 単元名・教材名 発信します！わたしたちの学習
「アップとルーズで伝える」
「4年生の学習を伝えるテレビ番組を作ろう」

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の実態

児童はこれまで、説明的な文章を「読むこと」の学習で、「問い」や「答え」を見付けることや「初め」「中」「終わり」の段落構成について考えること、各形式段落の要点をまとめること、筆者の説明の工夫を考えることなどの学習を行ってきた。第4学年1学期の教材「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」では、それらに加えて、「事実」と「考え」を読み分けること、「事例」や「根拠」を読み取ることなどを学習した。本学級の児童は、「問い」や「答え」を見付けることや、「このように」などの言葉に着目して文章を「初め」「中」「終わり」に分けることは比較的よくできる。しかし、各形式段落の中心となる文は見付けることができるものの、要点を自分の言葉でまとめたり小見出しを付けたりする活動は苦手とする児童が多い。さらに、筆者の説明の工夫を見付けることについても経験が浅く、自分の考えを書くことができない児童もいる。そこで、本単元に入る前に、学年の系統を意識し、前学年までの説明的な文章で学習した説明の工夫を復習してから本単元に入ることにした。

「読むこと」の学習を生かして文章を「書くこと」の学習では、第2学年「しかけカードの作り方」、第3学年「すがたをかえる大豆」で、絵や写真と文を対応させて書く学習を行ってきた。第4学年2学期の教材「手と心で読む」では、「初め」「中」「終わり」の構成で、自分たちで撮った写真と対応させて「学校の中にある体の不自由な人のための施設」について紹介する文章を書いた。児童は、教師とともにモデル文の構成を考え、真似できる表現は真似をし、自分の表現も加えながら文章を書くことができていた。本単元では、児童が「3年生に伝える」という目的意識を持ち、より主体的に文章の構成について考え、書く喜びを味わえるように支援していきたい。

(2) 本単元の意図

本単元は、「読むこと」と「書くこと」の二領域の指導内容を取り上げた複合単元として構成した。「読むこと」の教材「アップとルーズで伝える」では、学習指導要領の「C 読むこと」の「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」を重点的に指導する。写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえる学習を行っていく。まずは、それぞれの写真とそれを説明する段落を対応させ、段落同士が対比関係になっているだけでなく、段落の中でも対比が用いられていることに気付かせたい。そのうえで、段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えさせていく。文章の構成を見てみると、これまで学習してきた

教材文と同様「初め」「中」「終わり」の文章構成ではあるが、「初め」が3段落あり、第3段落で初めて「問い」が出てくるのは児童にとって初めての経験である。また、第1・2段落を第3段落が、第4・5段落を第6段落がまとめているという関係も新出であり、段落構成図を初めて学ぶのに適した教材であるといえる。「このように」などの言葉に着目しながら考えれば、既習を生かして段落相互の関係をとらえることができることに気付かせたい。児童には、これまで学んできた説明的な文章との違いを意識させながら、確実に本教材の文章構成をとらえさせるようにしていく。

「書くこと」の教材「4年生の学習を伝えるテレビ番組を作ろう」は、教科書教材「クラブ活動リーフレットを作ろう」の題材を変えて新たに作ったものである。ここでは、学習指導要領「B 書くこと」の内容である「イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。」に重点を置いて指導する。本単元で、児童は4年生の各教科の学習を3年生に伝えるために、テレビ番組のナレーションの原稿を書く。自分たちで撮った写真に対応する説明の文章を、アップの視点(個々の学習活動など)で記述したり、ルーズの視点(学級全体の学習の様子など)で記述したりする。「アップとルーズで伝える」で学んだことを生かし、アップとルーズそれぞれの効果を意識した構成及び記述ができるよう指導していく。

3 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、単元を貫く言語活動として、「4年生の学習を伝えるテレビ番組作り」を位置付けた。児童はこれまで、「動いて、考えて、また動く」で自分の考えを述べる文章を、「手と心で読む」で学校の施設を紹介する文章を、「ごんぎつね」で続きのお話を、そして「プラタナスの木」で自分の体験を踏まえた感想文を書く活動をそれぞれ行ってきた。本単元では、さらに一步進んで、書いた文章(原稿)を読み、テレビ番組を撮影することまでをねらいとした。テレビは、児童がいちばんよく目にするメディアであり、「テレビ番組を作る」というゴールは児童にとって魅力あるものであろうと考える。また、「読むこと」の教材「アップとルーズで伝える」の筆者は、NHKで実際に番組制作に関わっていた人物であり、児童に「テレビ番組を作るために番組の作り手が書いた文章を読む」という目的意識を持たせることもできる。さらに、作ったテレビ番組を3年生に見てもらおうという相手意識を強く持たせることにより、分かりやすい文章、相手に伝わりやすい話し方についても考えさせることのできる活動であると考えられる。

第1次では、教師がアナウンサーになったテレビ番組を見せ、活動のイメージを持たせる。題材は、5年生から始まる教科「家庭科」を紹介するものとした。第2次「読むこと」の学習では、文章の構成を学ぶとともに、テレビ番組作りを行うときに参考となるポイントを見つけていく。ここでは、児童に常にゴールとなる言語活動を意識させ、読む必然性をもって学習に取り組ませていく。そして、第3次「書くこと」の学習では、導入で使った番組の原稿をモデル文とし、第2次で見つけたテレビ番組作りのポイント「①写真と文章を対応させて書くこと」「②伝えたいことに応じてアップかルーズかを選ぶこと」を生かして文章を書いていく。

以上のことから、本単元でねらう「C 読むこと」の「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」や「B 書くこと」の「イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。」を実現するのにふさわしい言語活動であると考えられる。

常に単元を貫く言語活動を意識しながら、自分の表現したい思いを膨らませる

第1次	第2次	第3次
<ul style="list-style-type: none">・教師がアナウンサーになったテレビ番組を見て、単元の見通しを持つ。・学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none">・「アップとルーズで伝える」を読み、文章構成を学ぶ。・学んだことをもとに、テレビ番組作りのポイントを見つける。	<ul style="list-style-type: none">・「4年生の学習を伝えるテレビ番組」の原稿を書く。・番組撮影をする。・番組を見合い、学習を振り返る。

4 研究主題との関わり

研究主題

「確かな読み取りをもとに、豊かな学びを追究する児童の育成」

本校では、「確かな読み取りをもとに、豊かな学びを追究する児童の育成」と研究主題を掲げ、国語科を中心に研修に取り組んでいる。目指す児童像「国語科の基礎的・基本的な学力（読み取り）が確実に身に付いている子」「自分の思いや考えを進んで伝え（表現し）、学び合うことができる子」を実現するために、以下の2つの仮説に対し、単元全体を通して次のような手立てを講じていく。

仮説1

国語科を中心に、児童が確かな読み取りを身に付け、学ぶ楽しさを味わうことで、学び続けようとする態度が育つであろう。

・単元を貫く言語活動の設定

単元を貫く言語活動として「4年生の学習を伝えるテレビ番組作り」を設定する。児童には、各時間ゴールとなる言語活動を意識させ、児童が常に目的意識を持って学習に取り組めるようにする。

・必然性を持たせた課題設定

「読むこと」の学習では、「テレビ番組を作るためにテレビ制作者が書いた文章を読もう」とし、児童が意欲的に学習を進められるようにする。さらに、各時間の課題は、ゴールとなる言語活動に生かせるものに設定し、学習活動が児童にとって必然性があるようにする。

・「説明文の家」の効果的活用

各段落の役割や要点をまとめる「説明文の家」を書く活動を「読む」学習の始めに位置づける。その後は、気付いたことがあったら、いつでも「説明文の家」に書き込んでよいこととし、全ての児童が自分の考えを持って学習に参加できるようにする。

・説明文ノートの活用

説明文専用のノートを使い学習を進めていく。前学年までの主要な説明文を復習した際の「説明文の家」などを振り返ったり、児童が苦手とする「説明の工夫」を見付ける活動で、これまでのノートを振り返って考えたりできるようにする。

仮説 2

自分の思いや考えを進んで話し合い（表現し）、ともに学び合うことで、深く読み取る力が育つであろう。

・相手意識を持たせる

3年生に伝えるというめあてを第1時に全員で共有し、単元全体を通して、児童が相手意識を持ち意欲的に学習を進められるようにする。

・グループによる協働学習

ゴールとなるテレビ番組作りは、4人グループで行う。番組作りの計画や原稿の推敲などの場面では、話し合いの視点を示し効果的な話し合いが行われるよう支援する。

・読み取った内容を違う写真で確認する活動の工夫

各時間の終わりに、読み取った内容を自分たちの写真で確認する場面を設定し、学習したことが確実に身に付いているかを確認する。この場面では、ゴールとなる言語活動と同じグループで活動をさせ、教材文を自分たちの身近な題材で確認し一般化する。

5 単元の目標

- (1) 分かりやすく説明するために、文章を読んで説明の工夫を探したり、見つけた工夫を生かして文章を書いたりしようとしている。 〈関心・意欲・態度〉
- (2) 書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。 〈書くこと〉
- (3) それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。 〈読むこと〉
- (4) 指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解している。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〉

6 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 国語への 関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての 知識・理解・技能
単元 の 評 価 規 準	・ 分かりやすく説明するために、文章を読んで説明の工夫を探したり、見つけた工夫を生かして文章を書いたりしようとしている。	・ 文章全体の構成を理解し、書くことの中心を明確にして書いている。 ・ 選んだ写真と文章を対応させて書いている。	・ 写真と文章を対応させながら読み取っている。 ・ 対比しながら述べる説明の仕方を捉え、文章全体の構成と段落相互の関係を理解している。 ・ 内容の中心がよく分かるように音読している。	・ 指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解している。 ・ 句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書いている。

学習活動に即した評価規準	<p>① 3年生に伝えたいという意欲を持ち、進んで学習計画を立てている。</p> <p>② 分かりやすく説明するために進んで教材文を読み、説明の工夫やテレビ番組作りのポイントを探そうとしている。</p> <p>③ 見つけたポイントを生かして、テレビ番組の原稿を書こうとしている。</p> <p>④ 他グループの発表に興味をもって聞き、進んでよさを見付けようとしている。</p>	<p>① 「初め」「中①」「中②」「終わり」の構成を理解し、段落ごとに書くこと、中心を明確にして書いている。</p> <p>② アップとルーズそれぞれの写真に対応させて文章を書いている。</p>	<p>① アップとルーズそれぞれの写真と対応させながら、アップとルーズの意味を読み取っている。</p> <p>② アップとルーズで伝えられることと伝えられないことを表にまとめ、目的に応じて使い分けていることに気付いている。</p> <p>③ 段落相互の関係をとらえ、段落構成図を書いている。</p> <p>④ 内容の中心がよく分かるように音読している。</p>	<p>① 「このように」「しかし」「でも」などの言葉に着目し、文章の構成をとらえている。</p> <p>② 句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書いている。</p>
--------------	--	---	--	--

7 指導と評価の計画（全15時間）本時4 / 15時

次	時	主な学習活動	学習内容	評価規準・評価方法
一	1	<p>第1次 ゴールとなる言語活動を確認し、学習計画を立てる。</p> <p>○教師がアナウンサーになったテレビ番組を見て、単元の見通しを持つ。</p> <p>○教師とともに学習計画を立てる。</p> <p>○テレビ番組を作るため、テレビ制作者が書いた文章を読んで、テレビ番組作りのポイントを学ぶことを知る。</p>	<p>○ゴールとなる言語活動の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生の学習を伝えるテレビ番組を作ること <p>○相手意識の明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生に見せること <p>○教材文を読む意義</p> <p>○振り返りカードの書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点 ・自己評価の仕方 	<p>ア①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言内容や態度の観察 ・振り返りカードの考察
二	2	<p>第2次「アップとルーズで伝える」を読み、テレビ番組作りのポイントを学ぶ。</p> <p>○「アップとルーズで伝える」を読み、各形式段落の要点を考える。</p> <p>○疑問に思ったこと、もっと知りたいと思ったことを共有する。</p>	<p>○教材文を読み、大まかな内容をとらえること</p> <p>○各段落の役割・説明の工夫の読み取り（個人）</p> <p>○「説明文の家」の作成</p> <p>○新出漢字の学習</p>	<p>ア②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言内容や態度の観察 ・振り返りカードの考察

	3	<ul style="list-style-type: none"> ○第1～3段落を読む。 ○番組作りのポイント①を見付ける。 ○教師が撮影した学校生活の写真を「アップ」と「ルールズ」に分ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真と文の対応 ○「アップ」「ルールズ」の意味 ○「問い」が第3段落にあること ○番組作りのポイント①「写真と文章を対応させる」 ○読み取り内容を確認・一般化し、番組作りに生かすこと 	<ul style="list-style-type: none"> エ① ・発言・ノート の記述内容 の考察
	4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○第4～6段落を読む。 ○「アップ」と「ルールズ」で伝えられることと伝えられないことを表にまとめる。 ○「対比」という言葉を知る。 ○番組作りのポイント②を見付ける。 ○「アップ」と「ルールズ」の特徴が自分たちの生活を撮った写真でも言えることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「アップ」と「ルールズ」で伝えられることと伝えられないこと ○言葉「対比」 ○ポイント②「目的に応じてアップかルールズかを選ぶ」 ○読み取り内容を確認・一般化し、番組作りに生かすこと 	<ul style="list-style-type: none"> エ②・オ① ・発言・ノート の記述内容 の考察
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○第7・8段落を読む。 ○筆者がいちばん伝えたいことを読み取る。 ○自分たちの生活を撮った写真を使い、伝えたいことに応じて写真を選ぶ「どちらを選ぶ？」ゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第7段落で別の例(写真)を挙げていること ○第8段落は全体のまとめであること ○筆者がいちばん伝えたいこと「伝えたいことに応じてアップかルールズかを選ぶ」 ○伝えたいことに応じた写真の選択の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> エ③ ・発言・ノート の記述内容 の考察
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○文章全体の構成を考える。 ○身近な新聞記事でも、「アップ」と「ルールズ」が使われていることを確認する。 ○番組作りのポイントを振り返る。 ○第2次での自分の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○段落構成図のかき方 ○文章全体の段落構成図 ○読み取り内容を確認・一般化し、番組作りに生かすこと ○番組作りのポイントのまとめ ○第2次の学習の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ア② ・発言内容や態度の観察 ・振り返りカードの考察
三	7	<p>第3次「4年生の学習を伝えるテレビ番組」を作ろう。</p>		
		○学習計画を確認する。	○学習計画の確認	ア③

	<ul style="list-style-type: none"> ○グループごとに番組のテーマ(伝えたい学習)を決める。 ○伝えたい学習のよさを書き出す。 ○どんな写真を撮ればよいかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○番組のテーマの決定 ○伝えたいことのよさを考えること ○写真撮影の計画 ○視点を絞った話し合いの仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容や態度の観察 ・振り返りカードの考察
	○グループごとに写真撮影を行う。		
8	<ul style="list-style-type: none"> ○教師のモデル文(番組原稿)を読み、文章の構成を話し合う。 ○番組作りのポイントがどこに生かされているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の書き方 <ul style="list-style-type: none"> ・「初め」・「中」・「終わり」 ・「中」は、よさ2つ。(「アップ」と「ルーズ」の写真を生かす) ・2次で学習したポイントが生かされていること 	<ul style="list-style-type: none"> ウ① ・発言内容や態度の観察 ・振り返りカードの考察
9	<ul style="list-style-type: none"> ○伝えたいことに応じた写真を選定する。 ○「初め」の原稿を書く。(個人) ○グループで推敲し、よりよい文章にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真の選定 ○モデル文の分析 ○伝えたいことを明確にした文章の書き方 ○推敲の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ウ①・オ② ・ワークシート記述内容考察
10	<ul style="list-style-type: none"> ○「中①」の原稿を書く。(個人) ○グループで推敲し、よりよい文章にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデル文の分析 ○伝えたいことを明確にした文章の書き方 ○推敲の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ウ②・オ② ・ワークシート記述内容考察 ・話し合いの様子の観察
11	<ul style="list-style-type: none"> ○「中②」の原稿を書く。(個人) ○グループで推敲し、よりよい文章にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデル文の分析 ○伝えたいことを明確にした文章の書き方 ○推敲の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ウ②・オ② ・ワークシート記述内容考察 ・話し合いの様子の観察
12	<ul style="list-style-type: none"> ○「終わり」の原稿を書く。(個人) ○グループで推敲し、よりよい文章にする。 ○全体の文章を推敲する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデル文の分析 ○伝えたいことを明確にした文章の書き方 ○推敲の視点 	<ul style="list-style-type: none"> ウ①・オ② ・ワークシート記述内容考察 ・話し合いの様子の観察
13	○グループで番組撮影の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ○大事なことが伝わりやすい話し方 ○写真を出すタイミング 	<ul style="list-style-type: none"> エ④ ・練習の様子の観察
14	<ul style="list-style-type: none"> ○番組撮影をする。 ○自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○分かりやすい話し方 ○自己評価の視点 	<ul style="list-style-type: none"> エ④ ・様子観察
15	○番組を見て、振り返る。	○振り返りの視点(写真の選定・文章の構成・話し方)	<ul style="list-style-type: none"> ア④ ・様子観察 ・ワークシート記述内容考察

8 本時の学習指導（4／15時）

（1）目標

- アップとルーズで伝えられることと伝えられないことは何かを読み取り、番組作りに生かせるポイントを見つけることができる。（読むこと）

（2）評価規準

エ 読む能力	オ 言語についての知識・理解・技能
② アップとルーズで伝えられることと伝えられないことを表にまとめ、目的に応じて使い分けていることに気付いている。	① 「このように」や「しかし」「でも」などの言葉に着目し、文章の構成をとらえている。

（3）展開

学習活動	学習内容	指導と評価の創意工夫	時間
1 本時の学習課題をつかむ。 (1) 前時の学習を振り返る。 (2) 本時の学習課題を把握する。	○「アップ」と「ルーズ」の意味の確認 ○番組作りのポイント ①の確認	・学習計画の掲示を示しながら、前時の学習を簡単に振り返る。 ・本時は、ポイント②を見付けていくことを確認する。	3
アップとルーズをどんなときに使い分ければよいだろう。			
2 第4～6段落を読んで、番組作りのポイントを見付ける。 (1) 第4～6段落を音読する。 (2) アップとルーズで分かることと分からないことを表にまとめる。 ①本文線引き（個人→ペアで確認） ②表の作成（個人→全体） ③表を見て考える（ペア→全体）	○第4～6段落の音読 ○書いてあることの確認 ○アップとルーズで分かることと分からないことの読み取り	・課題を意識して音読するよう声をかける。 ・第4～6段落には、何が書かれているか問いかける。 ・アップで分かることは赤線、ルーズで分かることは青線、それぞれで分からないことは黒線を引かせる。 ・どんな表でまとめればよいか簡単に考えさせる。 ・表にまとめるときは、文を抜き出すのではなく、短い言葉で書くとよいことを伝える。	30

ルーズ	アップ	
<p>・選手とおうえんした人たちが一体となつて、勝利を喜び合う様子</p> <p>広いはんいの様子</p>	<p>・ゴールを決めた選手が全身で喜びを表しながら走る様子</p> <p>細かい部分の様子</p>	分かること
対比 ←		
<p>でも</p> <p>・顔つき・視線・気持ち</p> <p>細かい部分の様子</p>	<p>しかし</p> <p>・相手選手の様子</p> <p>・おうえん席の様子</p> <p>・うつつされていない多くの部分</p> <p>広いはんいの様子</p>	分からないこと
←		

- ・児童の発言を受けて左のような表を完成させる。
- ・表を見て「どうですか」と発問し、児童の様々な考えを引き出す。
- ・児童から「反対」という言葉が出たら⇄を書き込む。
- ・「アップで分かること」と「ルーズで分からないこと」が同じだという意見が出たら、表を同じ色で囲む。

評価場面1
 〈活動に即した評価規準〉
 エ②・オ①
 〈評価方法〉

- ・発言
- ・ノートの記述内容の考察
 〈手立て〉
- ・線が引けない児童には、教科書の「分かります」「分かりません」の表現に着目させる。
- ・黒板にまとめる際には、視覚的にとらえやすいようカードやチョークの色を工夫する。

(3) 「対比」という言葉を知る。

○「対比」という意味とその意味

- ・最後に⇄を指さして「対比」という言葉を知らせる。
- ・国語辞典に載っている意味を読ませ、黒板に掲示する。

(4) 第6段落の読み取りをする。

- 第6段落の音読
- まとめを表す言葉「このように」
- 第6段落の内容
 - ・第4・5段落のまとめ

- ・第6段落には何が書かれているか問いかける。
- ・「このように」という言葉に着目させ、第6段落は第4・5段落のまとめであることを押さえる。
- ・第4・5段落では「分かること」など受け手の視点だったが、第6段落では「伝えたいこと」と送り手の視点になっていることを押さえる。
- ・2番目の文は、何か問いかける。

・筆者の言いたいこと
 「目的におうじてア

<p>(5) 本時のまとめを書く。</p>	<p>アップとルーズを切りかえながら放送をしています。」</p> <p>○まとめ</p>	<p>・「<u>目的におうじて</u>」とはどういうことかペアで話し合わせ、その後表に戻って全体で確認する。 <u>(細かい部分の様子を伝えたいときはアップ、広い範囲の様子を伝えたいときはルーズ)</u></p>	
<p>細かい部分の様子を伝えたいときはアップ、 広いはんいの様子伝えたいときはルーズを使う。</p>		<p>・ 本時の課題を振り返って <input type="text"/> を抜いたカードを示し、個人でまとめを書かせる。 ・ 自分の言葉でまとめるよう伝える。</p> <p>評価場面2 〈活動に即した評価規準〉 エ② 〈評価方法〉 ・ 発言 ・ ノートの記述内容の考察〈手立て〉 ・ 表を振り返らせる。 B: 上のように教科書の言葉で書いている。 A: 自分の言葉を付け足すなど工夫して説明している。</p>	<p>7</p>
<p>(6) アップとルーズの特徴が自分たちの生活を撮った写真でも言えるか考える。(グループ)</p>	<p>○番組作りのポイントの具体的確認(読み取った内容の一般化)</p>	<p>・ 写真が印刷されたワークシートをグループに一枚配り、以下の2点をグループで書き込ませる。 ① アップかルーズか ② それぞれの写真で伝えられること ・ 一つのグループに発表させる。</p>	<p>5</p>
<p>3 本時の振り返りと次時の予告をす</p>	<p>○言語活動に生かせる学びの確認</p>	<p>・ テレビ番組作りのポイントと振り返りを書かせる。</p>	

<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組作りのポイントを書く。 (個人→全体) 	<p>「目的に応じてアップかルーズかを選ぶ。」</p> <p>「細かい部分の様子を伝えたいときはアップ、広いはんいの様子を伝えたいときはルーズを使う。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書けない児童には、筆者の言いたいことやまとめを受けて考えるよう声をかける。 ・次回は、第7・8段落を読むことを確認する。
---	--	--

9 板書計画

写真

写真

<p>③</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> </div> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p> <p>⑩</p> <p>⑪</p> <p>⑫</p> <p>⑬</p> <p>⑭</p> <p>⑮</p> <p>⑯</p> <p>⑰</p> <p>⑱</p> <p>⑲</p> <p>⑳</p> <p>㉑</p> <p>㉒</p> <p>㉓</p> <p>㉔</p> <p>㉕</p> <p>㉖</p> <p>㉗</p> <p>㉘</p> <p>㉙</p> <p>㉚</p> <p>㉛</p> <p>㉜</p> <p>㉝</p> <p>㉞</p> <p>㉟</p> <p>㊱</p> <p>㊲</p> <p>㊳</p> <p>㊴</p> <p>㊵</p> <p>㊶</p> <p>㊷</p> <p>㊸</p> <p>㊹</p> <p>㊺</p> <p>㊻</p> <p>㊼</p> <p>㊽</p> <p>㊾</p> <p>㊿</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">ルーズ</th> <th style="width: 50%;">アップ</th> <th style="width: 10%;"></th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>広いはんいの様子</p> <p>選手とおうえんした人たちが一体となって、勝利を喜び合う様子</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>細かい部分の様子</p> <p>ゴールを決めた選手が全身で喜びを表しながら走る様子</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>分かること</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;"> <p>対比</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>でも</p> <p>顔つき・視線・気持ち</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>しかし</p> <p>相手選手の様子 ・おうえん席の様子 ・うつされていない多くの部分</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>分らないこと</p> </td> </tr> </table>	ルーズ	アップ		<p>広いはんいの様子</p> <p>選手とおうえんした人たちが一体となって、勝利を喜び合う様子</p>	<p>細かい部分の様子</p> <p>ゴールを決めた選手が全身で喜びを表しながら走る様子</p>	<p>分かること</p>	<p>対比</p>			<p>でも</p> <p>顔つき・視線・気持ち</p>	<p>しかし</p> <p>相手選手の様子 ・おうえん席の様子 ・うつされていない多くの部分</p>	<p>分らないこと</p>	<p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p> <p>⑩</p> <p>⑪</p> <p>⑫</p> <p>⑬</p> <p>⑭</p> <p>⑮</p> <p>⑯</p> <p>⑰</p> <p>⑱</p> <p>⑲</p> <p>⑳</p> <p>㉑</p> <p>㉒</p> <p>㉓</p> <p>㉔</p> <p>㉕</p> <p>㉖</p> <p>㉗</p> <p>㉘</p> <p>㉙</p> <p>㉚</p> <p>㉛</p> <p>㉜</p> <p>㉝</p> <p>㉞</p> <p>㉟</p> <p>㊱</p> <p>㊲</p> <p>㊳</p> <p>㊴</p> <p>㊵</p> <p>㊶</p> <p>㊷</p> <p>㊸</p> <p>㊹</p> <p>㊺</p> <p>㊻</p> <p>㊼</p> <p>㊽</p> <p>㊾</p> <p>㊿</p>
ルーズ	アップ													
<p>広いはんいの様子</p> <p>選手とおうえんした人たちが一体となって、勝利を喜び合う様子</p>	<p>細かい部分の様子</p> <p>ゴールを決めた選手が全身で喜びを表しながら走る様子</p>	<p>分かること</p>												
<p>対比</p>														
<p>でも</p> <p>顔つき・視線・気持ち</p>	<p>しかし</p> <p>相手選手の様子 ・おうえん席の様子 ・うつされていない多くの部分</p>	<p>分らないこと</p>												

このように、アップとルーズには、それぞれ伝えられることと伝えられないことがあります。

対比
二つのものごとを比べて、そのちがいを見ること。

筆者の言いたいこと
それで

目的におうじて、アップとルーズを切りかえながら、放送をしています。

③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
㉜
㉝
㉞
㉟
㊱
㊲
㊳
㊴
㊵
㊶
㊷
㊸
㊹
㊺
㊻
㊼
㊽
㊾
㊿

説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう

「四年生の学習を伝えるテレビ番組」を作ろう

「アップとルーズで伝える」は、写真と文章を組み合わせて、具体例をあげたりして、読む人に分かりやすく説明していました。あなたも、説明のしかたを工夫して、四年生の学習の楽しさを分かりやすく伝えるテレビ番組を作りましょう。

たしかめよう

「いつも気をつけよう」→6ページ

活動の流れ

決めよう・集めよう

① 説明する相手と内容を決める。

組み立てよう

② 文章の組み立てを考える。

書こう

③ 説明する文章を書く。

伝えよう

④ テレビ番組にして伝える。

ふり返ろう・生かそう



① 説明する相手と内容を決めよう。

四年生の学習を伝えたい相手を決めましょう。

- 三年生
- 家の人
- ちいきの人

テレビ番組を見る人に、どんなことを知らせたいですか。受け手に伝えたい、よい点を選びましょう。よい点は、いくつかあげておくと、選んだ学習の楽しさが伝わりやすいですね。

家庭科には、一人一人の技能を高めるよさと、仲間と協力して活動する楽しさがあるな。



② 文章の組み立てを考えよう。

次の表を参考にして、文章の組み立てを考えましょう。

初め	家庭科には、「よい点①」と「よい点②」がある。
中	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「よい点①」 を伝える写真</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「よい点②」 を伝える写真</div> </div> <p>「よい点①」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が技能を高めるよさ。 ・教科書で学んだことを生かすことができるとうれしい。 <p>「よい点②」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力して活動する楽しさ。 ・協力して、手ぎわよく実習できるようにになるところにやりがいがある。
終わり	まとめ

選んだ学習のよい点を分かりやすく説明するためには、どんな写真を使うとよいかも考えましょう。

③ 説明する文章を書こう。

テレビ番組の原こうを書きましよう。

一人で、みんなで、楽しい家庭科

五年生の家庭科では、一人一人が調理やさいほうなどの技能を伸ばすよさと、みんなで協力して活動するよさがあります。

この写真は、「ゆで野菜サラダ」を作る調理実習で、キャベツを短ざく切りにしているところです。調理実習では、教科書で学習した切り方を、安全・正しい生などに注意しながら実さいに行ってみます。学んだことを上手に生かすことができて、見た目もきれいなおいしいサラダができるとうれしいです。

また、仲間と協力して活動する楽しさもあります。この写真は、グループで協力して調理を行っているところです。全員で声をかけ合ったり教え合ったりしながら、手ぎわよくおいしい料理を作るところにやりがいがあります。このように、家庭科では、自分の調理やさいほうなどの技能が伸びるよう努力したり、仲間と協力して実習をしたりして、学習を楽しむことができます。

④ テレビ番組をさっすいして、三年生に伝えよう。

グループで読み合い、分かりやすく書いていくか、かくにんしましよう。初めに映す番組タイトルのフリップや、あいさつ文を作ってもいいですね。



▼上の文章の、それぞれの段落には、どんなことが書かれていますか。

▼写真の使い方や工夫しているところはありますか。



説明のしかたを工夫して書く

- 内容のまとまりごとに段落を分ける。
- 内容に合う写真をそえたり、具体例をあげたりすると、読み手に分かりやすい文章になる。

ふり返ろう・生かそう
□「初め」や「終わり」の内容を「中」で分かりやすく説明することができましたか。

◆他教科の学習で、何かを説明するとき
に、「こ」で書いた文章の組み立てを生かしましよう。